年度	学年	教科	授業数／週
令和８年度	３学年	国語	3

教科書
伝え合う言葉　中学国語１　（教育出版）
補助教材
正進社「国語スイッチ３」

年間指導目標
・知識の定着と活用 ・文章と対話による表現力の育成 ・情報リテラシーの育成

観点	評価材料	評価基準
知識 技能	○中間・期末テスト ○漢字・語彙などの小テスト ○作文	知識に関して、各テスト、授業内における小テストによる観点別問題で行う。技能に関して、漢字の知識が身に付いているかを評価する。 課題作文などで評価する。知識・技能を点数化して合算し、満点の８割程度以上をA評価、３割程度以下をC評価とする。
思考 判断 表現	○中間・期末テスト ○スピーチ ○作文・リポートなど ○ワークシート ○暗唱テスト	各テストにおける観点別問題で評価する。話し合い活動やスピーチ・作文における表現の仕方などで評価する。古典の暗唱テストを行い、適切に理解して表現できるかを評価する。満点の８割程度をA評価、３割程度以下をC評価とする。
主体的に 学習に 取り組む 態度	○ワークシート・ノート ○中間・期末テスト ○漢字小テスト ○提出物（ワーク等） ○授業態度	主体的に理解するまで学習に取り組む姿勢を評価する。何を学んだのか・疑問に思ったことは何か等、確認したものを評価する。満点の８割程度をA評価、３割程度以下をC評価とする。

授業の評価について	
注意事項	・観点ごとに評価をします。全ての観点がA評価(おおむね８０%以上)で、最高評価の「5」がつく。 ・評価材料については、記載してあるもの以外の材料で評価することもある。随時、学習に対する評価の観点等は生徒に周知する。
アドバイス	・中間、期末テストの点数が評価の６割～７割を占め、その他は小テストや日々の授業態度・ワークシート等で総合的に評価する。 ・漢字の読み書きは地道に取り組んで、知識として定着させることが大事。 ・班活動や話し合いなどの活動を積極的に行うことで表現力・コミュニケーション力の育成につながる。

年間指導計画			
学期	月	単元	テスト・評価
1学期	4	・春に ・立ってくる春 ・なぜ物語が必要か ・俳句の味わい/俳句十五句	・小テスト（知） ・ワークシート（思・主） ・振り返り（主）
	5	・薔薇のボタン ・漢字の広場１・漢字の広場２ ・助詞の働き	・小テスト(知) ・ワークシート（思・主） ・振り返り(主)
	6	・言葉の小窓１/言葉の小窓2 ・AIは哲学できるか ・説得力のある批評文を書く ・async一同期しないこと/問いかける言葉	・期末テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・ワークシート/作文（思・主） ・振り返り(主)
	7	・メディア・リテラシーはなぜ必要か？ /新聞が伝える情報を考える ・持続可能な未来を作るために	・ワークシート（思・主） ・スピーチ ・振り返り(主) ・小テスト(知)
夏休み	8		
2学期	9	・古文の振り返り ・旅への思い一芭蕉と「おくのほそ道」	・ワークシート（思・主） ・中間テスト　・振り返り(主) ・暗唱テスト(思) ・小テスト(知)
	10	・和歌の調べ一万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・漢文の振り返り ・風景と心情一漢詩を味わう	・ワークシート/作文（思・主） ・振り返り(主) ・小テスト(知)
	11	・言葉の小窓３ ・自己PR文を書く ・評価しながらスピーチを聞く	・期末テスト(知・思・主) ・小テスト(知)　・スピーチ ・ワークシート（思・主） ・振り返り(主)
	12	・漢字の広場３/4 ・故郷 ・２年の復習（敬語の振り返り）	・ワークシート（思・主） ・振り返り(主) ・小テスト(知)
3学期	1	・故郷 ・文法の振り返り（三年間の復習） ・総合問題	・小テスト(知) ・ワークシート（思・主） ・振り返り(主)
	2	・故郷 ・総合問題	・学年末テスト(知・思・主) ・小テスト(知) ・ワークシート（知・思・主） ・振り返り(主)
	3	・総合問題	・ワークシート（知・思・主） ・振り返り(主)